

部活動の活動方針

栃木県立足利工業高等学校



<p>学校の教育目標</p>	<p>【学校教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間性豊かな工業人の育成 <p>【学校教育目標と部活動との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動を通じて自主的に考え、行動する力を養い、工業人としての課題解決能力を高める。(主体性の育成) ・仲間や指導者との交流を通じて、協調性や責任感を育み、円滑なチームワークを築く能力を高める。(協調性と責任感の強化) <p>【部活動の教育的意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難を乗り越える経験を通じて、自己肯定感や挑戦する力を育む。(人格形成への寄与) ・部活動を通じて規則正しい生活習慣を身につけ、心身のバランスを整える力を育む。(健康的な生活習慣の形成)
<p>部活動の基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> 適切な運営のための体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、部活動を教育活動の一環として位置づける。 ・部活動を通じて生徒が主体的に取り組み、心身を鍛え、充実した学校生活を送る。 ・異年齢との交流を促進し、望ましい人間関係を構築し、責任感や連帯感を育む。 ・保護者の理解と協力を得るため、活動の目標・方針等を周知する。 学校部活動における安全管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハット事例を共有し、事故防止策を講じるなど、安全意識を高める。 ・顧問は、生徒の体調確認や設備・用具の定期点検を実施し、安全対策を強化する。 ・天候の急変時に備え代替案を準備し、危険と判断される場合は適切に計画変更・中止を行う。 ・熱中症予防のための水分補給や健康観察を徹底する。 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・技術・競技力の向上を図り、個性を伸ばしながら生涯にわたり競技を楽しむ意欲を養う。 ・学業への影響を考慮し、定期試験期間は原則として部活動を休止する。 ・生徒の負担軽減のため、短時間で合理的かつ効果的な練習計画を策定する。 ・各競技種目や活動目的に応じて、最適な練習時間や方法を設定する。 適切な休養日等の設定 <p>【休養日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 2 日以上休養日を設け、可能な限り週末の 1 日を休養日とする。ただし、生徒の心身の発達状況や競技種目の特性を考慮し、活動目的に応じて週当たりの休養日を調整することも可能とする。その場合でも、合理的でかつ効率的・効果的な活動を維持できるよう配慮する。 ・大会参加等の理由で週末の休養日を確保できない場合は、他の適切な日に振り替える。 ・長期休業中の休養日は学期中と同様に設定し、生徒が十分な休養を取るとともに、学校部活動以外の多様な活動にも取り組めるよう、一定期間のオフシーズンを設ける。 ・定期試験 1 週間前から試験期間中は、原則として部活動を休養日とする。 <p>【活動時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康管理に十分配慮し、学校生活や授業に支障のない範囲で活動時間を設定する。 ・原則として、平日の活動は 2 時間程度、休業日の活動は 3 時間程度とし、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。 ・練習試合や大会等で基準の活動時間を超えて活動する場合は、生徒の健康管理に十分配慮し、1 日のうちに適切な休養時間を設定するとともに、別の日の活動時間を調整するなど、週当たりの活動時間にも留意する。